

学びは越境する

異領域の導き手から看護へ



看護界は基礎教育における大学の位置づけを明確にしました。かたや来年には文部科学省の施策として、職業指導が「日本の全大学」に義務化される、世はまさに“大学の専門学校化”時代。こうした世相の変化の中、いま看護の教え手に知ってほしい外部の声を集めました。

本特集は、本邦有数の識者たち——それぞれが独自の研究の道を越境しつつ歩まれてきた——と看護教育とがクロスオーバーする誌上セッションです。著名なベストセラーの書き手としても市民社会と広く繋がる諸氏の考えは、実は領域を超えてあなたに内在する答えとも繋がっているかもしれません。

“大学”とは専門職が異界と繋がり得る世界であり、研究職、臨床職と地域学校を基盤とする教育職とがリンクする拠点として発展する可能性が、ケア者においてこそ有為に広がる場として期待してやみません。